

現代の 国語

令和7年度版 中学校国語教科書

編集の
趣旨と特色

三省堂

令和7年度版『現代の国語』

「何を学んだか」を 「実感」できる教科書

目次

●『現代の国語』の特徴

- 1 「学び方」がわかる……………6
- 2 「対話」を通して深める……………10
- 3 学びをつなげる……………14

●教科書の内容としくみ

- 読むこと 文学的文章……………18
- 読むこと 説明的文章……………20
- 情報の扱い方……………22
- 話すこと・聞くこと……………24
- 書くこと……………26
- 語彙……………28
- 読書……………30
- 伝統的な言語文化……………32
- 資料編……………34

●資質・能力向上への取り組み……………36

●現代的な課題への対応……………38

●ユニバーサルデザインへの取り組み……………40

●二次元コード参照先コンテンツ……………42

●教えやすく、学びやすいを実現する デジタル教科書・教材……………44

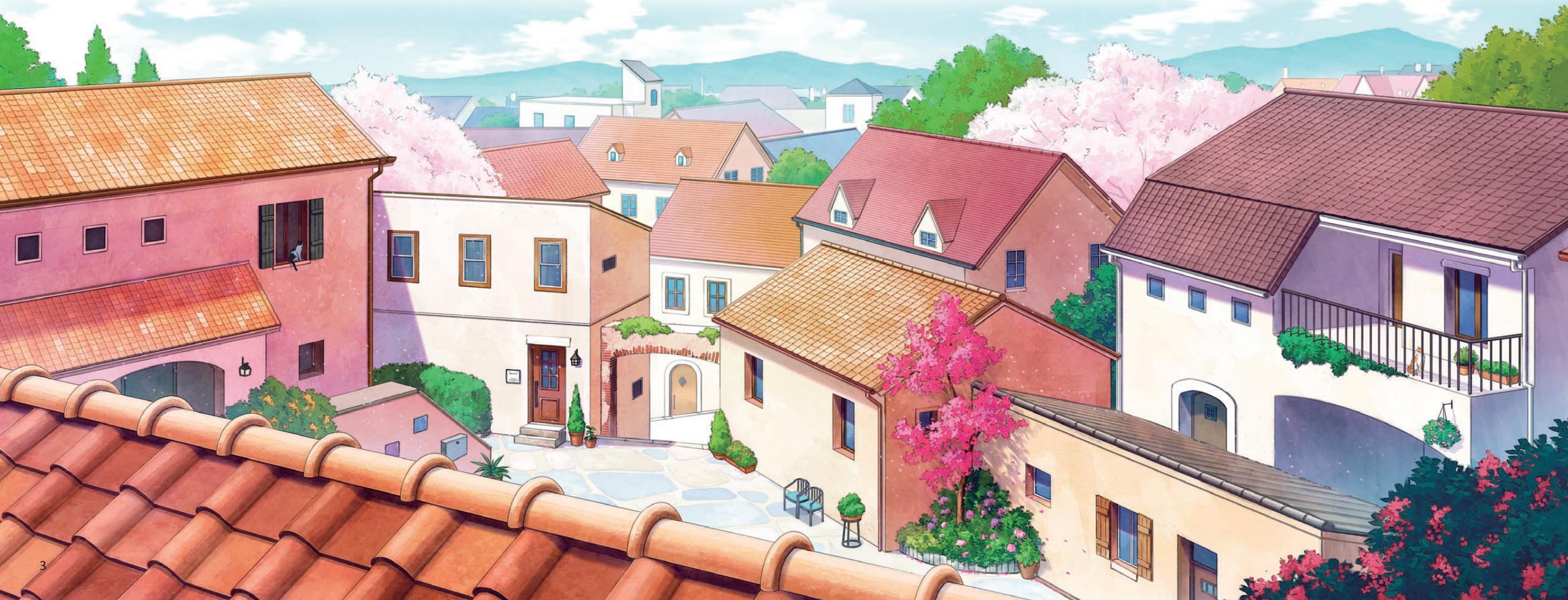
●指導書・教材のご案内……………46

●検討の観点と内容の特色……………48

●『現代の国語』編集委員……………56

■挟み込み資料

- 1 目次一覧／つきたい力と言語活動一覧
- 2 「読み方を学ぼう」一覧



『現代の国語』の特徴

1

「学び方」がわかる

- 自ら問いをもち、課題を解決する力を高めます。そのため、課題解決過程において活用できる「読み方」や「思考の方法」をわかりやすく視覚的に示しました。
- 各教材における「つきたい力」をより明確にしました。そのため、「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになったか」がよくわかります。

2

「対話」を通して深める

- 主体的な課題解決に基づく個別最適な学びに加えて、「対話」を中心とした、協働的な学びによって互いの考えを深めます。
- 相互に考えを交流して深め合うことを重視し、対話や討論などの言語活動を多く設定しました。

3

学びをつなげる

- 学んだことを生かして、次につなげることを大事にしました。一つの学びの積み重ねを通して、学んだ実感がもてるようにしています。
- 特に「読むこと」と「書くこと」を関連づけて、効果的な学習ができるように単元の構成を工夫しています。
- 教科書の二次元コードの参照先サイトでは、多様なコンテンツを豊富に掲載しています。紙とデジタルをつなげ、豊かな学びをサポートします。

『現代の国語』の解説動画をご覧ください。



1 「学び方」がわかる

何を、どう学ぶのかが、よくわかります。

領域別教材一覧

教科名	単元	学習目標	教材名	ページ
国語	ア	文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握する。	「何を学ぶのか」というねらいが明確。	190
	イ	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える。		150
	ウ	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する。		148
	エ	場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。		98
英語	オ	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。	「何を学ぶのか」というねらいが明確。	44
	カ	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるのにする。		104

「何を学ぶのか」というねらいが明確。

学びの道しるべ

ねらいに即した学習過程。

1000円の価値を考えると

目標
文章の構成や展開をもとに、筆者の主張の工夫について考える。

1 1000円分の100円玉、100円玉、1円玉の製造費と重さを比べ、どのようになるかわかるだろうか。98ページの表を参考にしよう。

2 お金が信用になった歴史をひもといてみよう。101ページ、10行までの内容をまよめよう。

3 「日本のお金＝日本の信用」とはどういうことか。お金をまよめよう。

4 キャッシュレス決済について、あなたはどのように活用したいか。筆者の主張を参考に、理由づけを明確にして、100字以内で発表しよう。

5 最終的に大切なのは、自分自身が考える価値だ。103ページを参考に、筆者の主張についてどう考えるか。意見を交流しよう。

学びを広げる
あなたは何に対して1000円以上の価値を感じるだろうか。日常生活の中から、1000円以上価値を感じる理由を一つ書いてみよう。

1000円をどう使うか

1000円をどう使うか。1000円をどう使うか。1000円をどう使うか。

1000円をどう使うか。1000円をどう使うか。1000円をどう使うか。

1000円をどう使うか。1000円をどう使うか。1000円をどう使うか。

どのように考えればよいかわかる。

読み方を学ぼう

読み方を学ぼう 4

三角ロジック

「主張」と「事実」と「理由づけ」を区別し、この3点を意識して考える方法を「三角ロジック」といいます。

「1000円の価値を考えると」における三角ロジックの例

主張
積極的にキャッシュレス決済を選択すべきだ。

事実
日本は将来的に支払いの80%がキャッシュレスになるように、キャッシュレス決済の推進に取り組んでいる。

理由づけ
・財布を持たずに買い物ができるから。
・支払い管理が簡単だから。
・紛失や盗難時の被害が減るから。

主張
キャッシュレス化には慎重になるべきだ。

事実
日本は将来的に支払いの80%がキャッシュレスになるように、キャッシュレス決済の推進に取り組んでいる。

理由づけ
・お金を使った感覚がなくなるので無駄使いしやすいから。
・不正利用の被害があるから。
・災害時などに機械が使えなくなってしまう可能性があるから。

読書の広場266ページ「玄關解」、274ページ「この小さな地球の上で」

どのように読めばよいかわかる。

二次元コード参照先サイトでは、全ての「読み方」について、動画による解説が見られます。

1000円の価値を考えると

1000円をどう使うか

1000円をどう使うか

1000円をどう使うか

1000円をどう使うか

1000円をどう使うか

3年間で22の方略の習得を積み重ねて、何ができるようになったか、学びの実感が確かなものになります。

学年	読み方	教科書で取り上げた教材
1年	1 説明文の基本構造	クジラの飲み水
	2 人物相関図	空中ブランコ乗りのキキ
	3 行動描写	字のない薬書
	4 三角ロジック	1000円の価値を考えると
	5 詩の表現技法	それだけでいい
	6 情景描写	トロッコ
	7 要約	意味と意図
	8 語り手・視点	少年の日の思い出
2年	1 人物設定	セミロングホームルーム
	2 説明文の論理展開	人間は他の星に住むことができるのか
	3 想像	短歌の世界／短歌十首
	4 図表と文章	味は味覚だけでは決まらない
	5 物語の転換点	平家物語
	6 象徴	小さな手袋
	7 例示	動物園でできること
8 心情把握	走れメロス	
3年	1 回想	握手
	2 批判的な読み	間の文化
	3 省略	俳句の世界／俳句十句
	4 具体と抽象	フロン規制の物語
	5 状況・背景	おくのほそ道
	6 反復	故郷

読み方を学ぼう

読み方を学ぼう 4

三角ロジック

「主張」と「事実」と「理由づけ」を関係づけて、この3点を意識して考えよう。この3点を意識して考えよう。この3点を意識して考えよう。

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

106

他の教材・他の領域の学習に活用できる!

資料編「読書の広場」の教材で、「読み方」を活用できる。

資料編「読書の広場」

「読み方」

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

269

266

「話すこと・聞くこと」でも活用できる。

三角ロジックを活用しよう

主張：手塚治虫をお礼にしたい。

事実：数多くの名作漫画を生み出し、読み継がれている。

理由づけ：日本文化の発展に貢献した人物だから。

1年 p.112 話すこと・聞くこと「スピーチ」

「書くこと」でも活用できる。

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

主張：動物園の動物は、自然に帰すべきだ。

理由づけ：野生動物たちが生きやすい環境を守りながら共生することが本来の姿だから。

事実：数百年にわたって、人間は野生動物と地球上で生きてきた。兵庫東灘岡市の取り組みによってコウノトリが野生復帰した。

主張：動物園の動物は、自然に帰すべきではない。

理由づけ：動物園は、「野生動物の保護」という役割を担っているから。

事実：この40年間で野生動物が58%減少した。動物園の動物の8割以上が動物園生まれだ。

2年 p.202 書くこと「論説文」

資料編「読書の広場」

「読み方」

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」

教材末の二次元コードから、「読書の広場」の教材で、「読み方を学ぼう」を活用した図解例が見られます。自学自習にも最適です。

思考の方法



●「比較」「分類」「具体化」「抽象化」など、考えを深め、確かなものにするための方法を9種類取り上げました。

●各教材の学習活動を進めたり深めたりすることに資するよう、図解を用いてわかりやすく示しました。

思考の方法	表現例	チャートの例
① 順序立てる	まず……。次に……。最後に……。	ステップチャート
② 比較する	○○と□□を比べると……。	比較チャート
③ 分類する	全体を三つにグループ分けすると……。	マトリックス(表)、Yチャート
④ 関連づける	○○と□□を関連づけると……。	イメージマップ、リンクチャート
⑤ 多角的に見る	○○の立場に立って考えると……。	バタフライチャート、フィッシュボーン
⑥ 理由づける	どうしてそうなるかという……。	クラゲチャート
⑦ 具体化する	例えば○○だ……。	ロジックツリー、ピラミッドチャート
⑧ 抽象化する	つまり○○だ……。	ロジックツリー、ピラミッドチャート
⑨ 仮定する	もし、○○だったら、どうなるか……。	キャンディチャート

思考の方法 比較する

「弱い」と「弱そうな」、「微笑」と「苦笑」は似ているけれど違うよね。

気の弱い微笑

気の弱そうな苦笑

比較

それぞれの表現が、三太郎のどのような気持ちと結びついているのか考える。

1年 p.34 物語「竜」

各教材の学習過程に即して、「思考の方法」として言葉で考える方法の一例を繰り返し示しました。さまざまな場面で活用できます。

2 「対話」を通して深める

「対話」を中心とした協働的な学びによって、ものの見方を広げ、自分の考えを深めます。

学びの道しるべ

空中ブランコ乗りのキキ

学びの道しるべ

- 目標
 - 描写をもとに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを捉える。
 - 登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かめる。



1 この物語の登場人物を書き出し、キキとの相互関係を整理しよう。

読み返して確認しよう。

2 街返りに対するキキの思いを、次の四つの場面ごとに捉えよう。

- ① たた二人、三回街返りができていたとき（66ページ・1行め～68ページ・3行め）
- ② ロロから四回街返りを止められたとき（68ページ・4行め～68ページ・16行め）
- ③ 波止場でおばあさんに会って会話をしているとき（69ページ・1行め～71ページ・16行め）
- ④ 本番で四回街返りに挑むとき（72ページ・1行め～74ページ・17行め）

3 キキはなぜ四回街返りに挑もうとしたのか、考えよう。

読み返して確認しよう。

4 キキが四回街返りに挑んだことにも最も影響を与えた人物は誰だろうか。1で整理した登場人物の中から選び、その理由とキキに与えた影響について話し合おう。

自分の考えを深めよう。

5 キキの行動や考え方についての自分の考えを、一〇〇字程度の文章にまとめて、書いた文章をもとに話し合ってみよう。互いの考えを共有しよう。

学びを振り返る

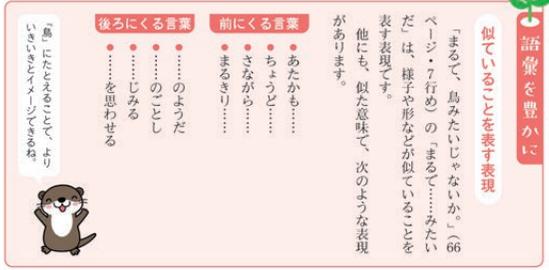
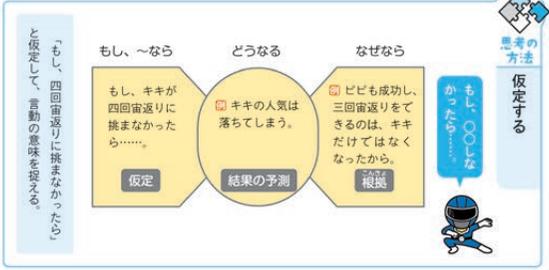
「空中ブランコ乗りのキキ」での学習を通して、学んだことを自分の言葉でまとめよう。

人物相関図・心情の変化

学びを広げる

あなたがキキの立場なら、おばあさんからもらった小瓶の水を飲むだろうか。A「飲む」、B「飲まない」とどちらかを選び、選んだ理由を次の条件に従って書こう。

- 条件1 「人派」「命」という言葉を使って書こう。
- 条件2 五十文字以上、八十文字以内で書こう。



77 空中ブランコ乗りのキキ

76



一人で考えているだけでは、気づけないことがたくさんあるよ。

学習者相互の「対話」を促す活動を重視し、随所に採り入れました。

読み方を学ぼう 2

人物相関図

人物相関図とは、小説、映画、ドラマなどの登場人物たちの関係を一枚の図にしたものです。人物相関図を作ること、物語全体を高いところから眺めるように把握することができます。物語の理解が深まります。

「空中ブランコ乗りのキキ」は、どのような人物がどのように主人公キキと関係しているのでしょうか。

「空中ブランコ乗りのキキ」における人物相関図の例

- 1 主人公を中央に大きく書く。
- 2 登場人物を書き出していき、主人公との関係を矢印や線で表し、その大小、形、色などを工夫する。
- 3 「仲間」「ライバル」など、主人公との関係を言葉で表す。

読書の広場258ページ「おじいさん」

78

「読み方を学ぼう」は、「対話」のためのツールとしても有効

- ▶ 図化することで、読み手による解釈の「違い」が明確になる。
- ▶ 目には見えない考えが、「共有」しやすくなる。

「情報単元」のテーマ

3年 防災
2年 水問題
3年 メディアリテラシー

情報の信頼性を確かめる

1 次の記事を読んで、このランキングが信頼できるかどうか、考えよう。

2 次の記事のなかのやりとりについて、二人の発信している情報を読み取り、考えてみよう。

プロサッカー選手人気ランキング TOP10

順位	選手名	所属チーム	得票数(万)
1	ニシダ	ジャガートン	205
2	ドウマエ	ジャガートン	101
3	フジモト	海伊グルス	81
4	三浦由利	ジャガートン	76
5	イノウエ	ジャガートン	68
6	イナダ	海伊グルス	51
7	タザキ	ジャガートン	35
8	オオスガ	アビス新舞	24
9	シノダ	ジャガートン	17
10	ツシムラ	海伊グルス	15

【調査期間】2027年11月1日～11月10日の期間
【調査方法】4年連続プロサッカー選手人気調査の結果を基に、試合終了後、スタジアム周辺で、観客に来ていたサッカーファンに聞き取り調査を行った。

東京市立水産館 年間の来館者数の推移

【特徴】東京市立水産館は、ここ数年で来館者数を増加に転じ、昨年1年間の来館者数は20万人を超えています。来館者数の減少に悩んでいたところ、設備やサービスのリニューアルなどで来館者数を増やしました。この結果は、東京市立水産館の広報担当山田さんに、来館者数を増やすための取り組みについて伺いました。

3年 p.156 「情報の信頼性を確かめる」

読み書き関連

「読むこと」と「書くこと」の学習を関連づけた単元を随所に配置しました。「読むこと」の学習を生かして、効果的な学習指導へとつなげられます。

8	視野を広げる	動物園でできること	奥山 英登
7	読みを深め合う	小説 小さな手袋	内海 隆一郎
6	情報を関係づける	大阿蘇	三好 達治

読み方を学ぼう 7

例示 例示の効果意識として具体例を通じて、筆者の主張を的確に把握することについて。

動物園でできること 例示の効果を意識して具体例を通じて、筆者の主張を的確に把握することについて。

動物園でできること 例示の効果を意識して具体例を通じて、筆者の主張を的確に把握することについて。

読み方を学ぼう 6

象徴 象徴とは、さまざまな事柄を一つの物に凝縮して表現する方法。形が、直接的には表す内容、具体的な物や事柄に示します。小説の中には、象徴として使われている物や場所が出てきます。物語の場から想像されるイメージをもとにして、象徴された事柄を読み解くことができます。

小さな手袋 における象徴の例

シホは、おばあさんに会いに、雑木林へ目撃するようになっていた。「あたしがおばあちゃんのショールの中に一緒に入っていると、とっても暖かかった。」

シホはまるでおばあさんのことを忘れたように雑木林から遠のいた。「おばあさんは静寂に泣いて頼んだ。」

それぞれの登場人物にとっての意味や思いについて考える。

象徴となる物や場所を筆者のイメージを思い起こす。

「読み方を学ぼう」は、「読むこと」と「書くこと」をつなぐツールとしても有効

- 例「読み方」として学んだ「例示」を生かして、「論説文」を書く。
- 例「小さな手袋」にこめられた思いをふまえて、登場人物になりきって手紙を書く。

「読むこと」教材の「学びの道しるべ」の末尾にある「学びを広げる」で示された学習活動が、次の「書くこと」教材として位置づけられています。

論説文 構成を工夫して考えを伝える

動物園の動物を自然に好きになるという主張がある。私はこの主張に反対である。動物園での保護が必要だと考える。

動物園は、動物たちが本来人間に飼われることなく、自然環境の中で生きていくべき場所である。動物園に飼われる動物は、人間の都合で飼われている。動物園には、動物たちの生活環境を整える責任がある。動物園は、動物たちの生活環境を整える責任がある。動物園は、動物たちの生活環境を整える責任がある。

論説文 構成を工夫して考えを伝える

動物園の動物を自然に好きになるという主張がある。私はこの主張に反対である。動物園での保護が必要だと考える。

動物園は、動物たちが本来人間に飼われることなく、自然環境の中で生きていくべき場所である。動物園に飼われる動物は、人間の都合で飼われている。動物園には、動物たちの生活環境を整える責任がある。動物園は、動物たちの生活環境を整える責任がある。動物園は、動物たちの生活環境を整える責任がある。

「書くこと」教材の「学びの道しるべ」の末尾にある「学びを広げる」で示された学習活動が、次の「書くこと」教材として位置づけられています。

学びを広げる

動物園の動物を自然に好きになるという主張がある。私はこの主張に反対である。動物園での保護が必要だと考える。

動物園は、動物たちが本来人間に飼われることなく、自然環境の中で生きていくべき場所である。動物園に飼われる動物は、人間の都合で飼われている。動物園には、動物たちの生活環境を整える責任がある。動物園は、動物たちの生活環境を整える責任がある。動物園は、動物たちの生活環境を整える責任がある。

動物園でできること

動物園の動物を自然に好きになるという主張がある。私はこの主張に反対である。動物園での保護が必要だと考える。

動物園は、動物たちが本来人間に飼われることなく、自然環境の中で生きていくべき場所である。動物園に飼われる動物は、人間の都合で飼われている。動物園には、動物たちの生活環境を整える責任がある。動物園は、動物たちの生活環境を整える責任がある。動物園は、動物たちの生活環境を整える責任がある。

「読み方」セット教材

●各学年の最初の説明文教材の前に、プレ教材としての「読み方を学ぼう」を折込形式で配置しました。

●直後の説明文教材で「読み方」を活用することで、確かな力につながります。

1年

説明文の基本構造を捉え、的確に内容を把握する「読み方」を身につけます。

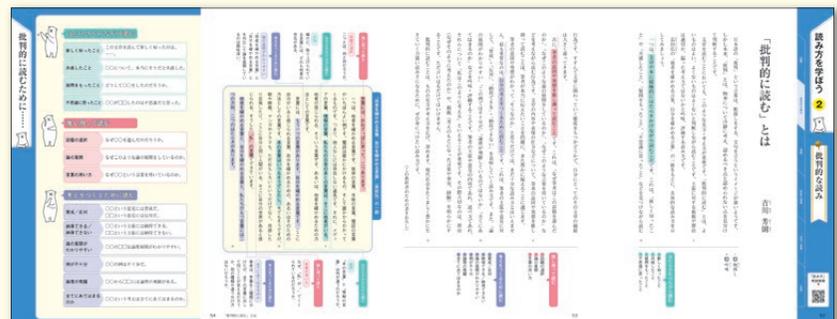
2年

仮説と検証を繰り返す説明の筋道や表現の工夫を捉える「読み方」を身につけます。

3年

文章を批判的に検討しながら、自分の考えを確かにする「読み方」を身につけます。

「読み方を学ぼう」一覧



各学年の巻末に、「読み方を学ぼう」の一覧を示しています。既習の図解を見直し、繰り返し確認しながら活用することで、学びがつながり、積み重なっていきます。



「読み方」を活用して、確かな力に。

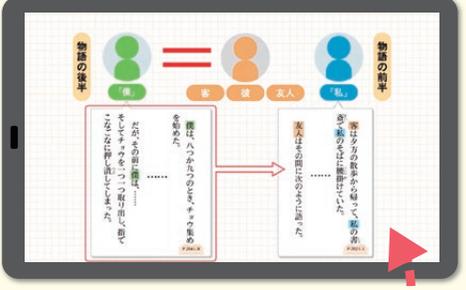
二次元コードコンテンツ

●二次元コードの参照先には、多様で豊富なコンテンツを掲載しています。紙とデジタルをつないで、豊かな学びをサポートします。 p.42

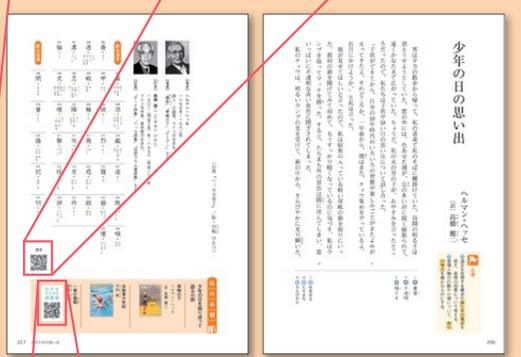
デジタル漢字ドリル



「読み方」解説動画

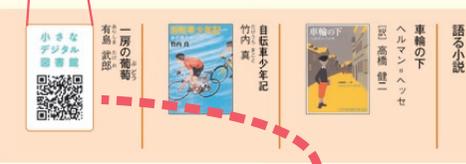


教科書から



1年 p.206 「少年の日の思い出」

私の本棚



補充教材



教材との関連を図りながら、二次元コードの参照先でも、多様な読書教材を収録しています。

つながる・広がる

つながる・広がる

感性や想像力を育み、対話を通して考えを深めます。

- 他者との関係や、人間の生き方、社会などを豊かに描いた文章によって、感性や想像力を育み、考えを深めます。
- 相互に考えを交流して深め合うことを重視し、対話や討論などの言語活動を設定しました。

◎教材一覧◎

1年

詩 朝のりレー

谷川俊太郎

物語 竜

今江祥智

物語 空中ブランコ乗りのキキ

別役実

随筆 字のない葉書

向田邦子

詩 それだけでいい

杉みき子

小説 トロッコ

芥川龍之介

小説 少年の日の思い出

ヘルマン・ヘッセ 「訳」高橋健二

読書の広場

小説 電車は走る

重松清

小説 おじいさん

西加奈子 **新**

2年

詩 名づけられた葉

新川和江

小説 セミロングホーム

ルーム 戸森しるこ

解説 短歌の世界

依万智

短歌 短歌十首

詩 大阿蘇

三好達治

小説 小さな手袋

内海隆一郎

小説 走れメロス

太宰治

読書の広場

小説 青いインク

吉田篤弘 **新**

小説 形

菊池寛 **新**

3年

詩 言の森

西尾勝彦 **新**

小説 握手

井上ひさし

解説 俳句の世界

夏井いつき

俳句 俳句十首

詩 初恋

島崎藤村

小説 故郷

魯迅 「訳」竹内好

小説 坊っちゃん

夏目漱石

読書の広場

小説 線は、僕を描く

新

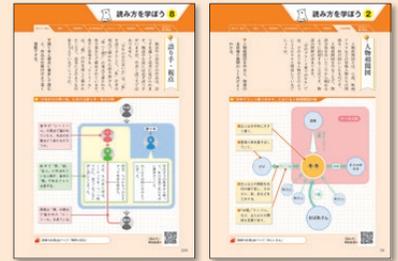
漫画 砥上裕将 「漫画」堀内厚徳

小説 高瀬舟

森鷗外

主に文学的文章の読みに適した「読み方を学ぼう」

- 2 人物相関図
- 3 行動描写
- 5 詩の表現技法
- 6 情景描写
- 8 語り手・視点



- 1 人物設定
- 3 想像
- 5 物語の転換点
- 6 象徴
- 8 心情把握



- 1 回想
- 3 省略
- 5 状況・背景
- 6 反復



▼学んだ「読み方」は、文学的文章の学習のみならず、他教科の学習や社会生活の中で、「学び方」「考え方」として活用できます。

「情景描写」に着目することで、人物の心情を捉えられるようになってきた。



現代的な課題に向き合い、論理的思考力・批判的思考力を高めます。

- 自然科学、環境、平和、共生、情報、言語などの多岐にわたる題材を取り上げ、ものの見方・考え方を広げます。
- 文章構成や論理展開が明快な文章を教材化し、論理的思考力・批判的思考力を高める課題を設定しました。

◎教材一覧◎

1年

読み方 ペンギンの防寒着 上田一生

説明 クジラの飲み水 大隅清治



説明 一〇〇〇円の価値を考える 八木陽子

図表 防災に関するデータ 新

記録 「みんなんでいるから大丈夫」の怖さ 山村武彦

説明 意味と意図 川添愛



読書の広場

説明 玄関扉 渡辺武信

説明 食感のオノマトペ 早川文代

随想 この小さな地球の上で 手塚治虫

1 説明文の基本構造

4 三角ロジック

7 要約



2年

読み方 宇宙に行くための素材 白石紀子

論説 人間は他の星に住むことができるのか 渡部潤一



報告 壁に残された伝言 井上恭介

論説 味は味覚だけでは決まらない 新 源河亨



論説 一〇〇年後の水を守る 橋本淳司

論説 飲み水は不足しているか 沖大幹 新

図表 水問題に関する資料 新



論説 動物園でできること 奥山英登

読書の広場

論説 水田のしくみを探る 岡崎稔

論説 金継ぎの美と心 清川廣樹 新

2 説明文の論理展開

4 図表と文章

7 例示



3年

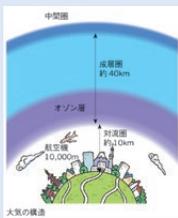
読み方 「批判的に読む」とは 吉川芳則

論説 間の文化 長谷川權



随想 海を越えた故郷の味 新 安田業津紀

論説 フロン規制の物語 神里達博



論説 見たいものだけ見る私たち 新 笹原和俊

実用文 情報の信頼性を確かめる 新

論説 私とは何か 新 平野啓一郎



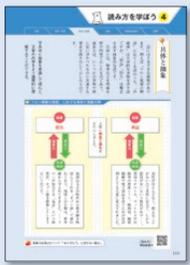
読書の広場

随想 「ありがとう」と言わない重さ 呉人恵

論説 虚と実 外山滋比古 新

2 批判的な読み

4 具体と抽象



主に説明的文章の読みに適した「読み方を学ぼう」

情報の扱い方

多様な情報を関連づけながら、現代社会の課題について考えを深めます。

- グラフや図表などの情報と、文章とを関連づけながら、自分の考えを深める「情報の扱い方」に関する単元を、各学年に特設しました。
- 多様な価値観が並立するグローバル社会の一員として求められる幅広い資質・能力を育成できる題材を選定しました。

1 情報の扱い方のポイントを理解する

マンガを通して、各学年の「情報の扱い方」(情報の整理) についてのポイントを理解し、本教材のゴールイメージをもちます。



情報
情報を関係づける

情報の扱い方のポイント、どう関係づける？

「情報」を整理して、各学年の「情報の扱い方」(情報の整理) についてのポイントを理解し、本教材のゴールイメージをもちます。

147 148

「情報を関係づける」とは、どうすることなのか分かるよ。地域の人たちに向けて防災訓練の案内を作るってことも明確だね。

3 情報を関連づけて考えを深める

資料Bの情報を読み取ります。テーマについて、違った視点から述べられた文章を読み、テーマに関する理解を広げ、深めます。



資料B 「みんなできているから大丈夫」の怖さ

「みんなできているから大丈夫」の怖さ

資料Bの情報を読み取ります。テーマについて、違った視点から述べられた文章を読み、テーマに関する理解を広げ、深めます。

150

資料Aの情報を補強したり、対立したりする文章を読むことで、見方・考え方が広がっていくね。

2 複数の情報を関連づけて読み取る

資料Aの情報を読み取ります。情報を関連づけて考えたことをもとに課題について話し合います。

資料A 防災に関するデータ

防災に関するデータ

資料Aの情報を読み取ります。情報を関連づけて考えたことをもとに課題について話し合います。

149 148



情報を関連づけて考えると、課題が明確になる。マンガを通して確認した情報の整理の仕方を確かめられるんだね。

4 これまでの学習をふまえて自分の考えを書く

資料Aと資料Bから読み取ったこと、考えたことを関連づけて、自分の考えを発信します。

資料A 必要な情報をわかりやすく伝える

必要な情報をわかりやすく伝える

資料Aと資料Bから読み取ったこと、考えたことを関連づけて、自分の考えを発信します。

155 154



情報の扱い方

1年	p.146 「比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について	理解を深め、使う」	テーマ：防災
2年	p.146 「情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使う」		テーマ：水問題
3年	p.150 「情報の信頼性の確かめ方を理解し使う」		テーマ：メディアリテラシー

関わり合いながら、思考力・コミュニケーション能力を高めます。

スピーチ系列

論理的に紹介・提案・主張を行う、各学年の「話すこと・聞くこと」の中心教材。

1 スピーチの内容を考える

日常生活の中から話題を決め、選んだ物事についてグループやクラスで紹介し合うスピーチを行います。

自分の声を通して直接思いや考えを伝えることで、書き言葉とは違った印象を聞き手に残すことができます。

自分の思いや考えが聞く人にしっかりと伝わるように、構成や表現を工夫しましょう。

2 スピーチの構成を考える

最も伝えたいことが明確になるように、内容を取捨選択したり、並べ替えたりして、構成メモを作ります。

構成を考えるときには、最も伝えたいこと、理由や具体例との関係に注意しましょう。

スピーチの時間に合わせて、話す分量を決めます。一分間におおよそ三〇〇字程度を目安に考えましょう。

スピーチ

構成を工夫して魅力^{魅力}を伝える

一人の話し手が、人々へ向けて話すこと。情報を伝える、行動を促す、お互いの理解を深めるなどの目的で行われる。

学習の流れ

- 1 スピーチの内容を考える
- 2 スピーチの構成を考える
- 3 グループでスピーチを行う
- 学びを振り返る

思考方法 順序立てる

思いが伝わるように並べ替えること……

「お礼にしたい人物」「手塚治虫」について

「お礼にしたい人物」

「手塚治虫」

「お礼にした理由」

「お礼にした理由」

「お礼にした理由」

- 1年 p.110 「スピーチ」
 - 2年 p.104 「プレゼンテーション」
 - 3年 p.112 「パブリックスピーキング」
- 3年では、「パブリックスピーキング」を設け、公の場で提案や主張をする力を養います。

◎教材一覧◎

総合系列

読書活動系列

情報系列

スピーチ系列

グループディスカッション系列

1年

グループディスカッション
話題や展開にそって話し合いをつなげる

スピーチ
構成を工夫して魅力^{魅力}を伝える

2年

グループディスカッション
互いの考えを尊重しながら話し合いを深める

プレゼンテーション
資料や機器を活用して効果的に発表する

3年

グループディスカッション
合意形成に向けて話し合いを計画的に進める

パブリックスピーキング
状況に応じて話す力を養う

読書活動
私が選ぶこの一文^新

グループ新聞
一年間の自分とクラスを振り返って

情報誌
地域の魅力を振り返って

読書活動
ビブリオバトル

情報^新
情報の信頼性を確かめる

名言集
中学校生活を振り返って

間をとり、聞き手に視線を送る

二次元コードの参照

先では、さまざまな動画コンテンツを収録しています。

映像を見ながら活動のイメージを豊かにしたり、学習のポイントを理解したりすることができます。

グループディスカッション系列

各学年の第1単元に、「グループディスカッション」を設け、話し合いを効果的に進めるための「こつ」を系統的に示しました。

質問

理由を問いかける

例：なぜ反対なのかな？

提案

相手の発言を促す

例：〇〇さんはどう？

確認

発言内容を確認する

例：……っていいかな？

検索

アイデアを出す

例：じゃあ、……はどうかな？

テーマ例

- 題名のサブタイトルを考えよう。
- 教科書の表紙の絵のタイトルを考えよう。
- 文化祭の出し物は何か？
- もしも有名な人の特別授業が一時だけ受けられるとしたら、誰を招きたいか。

読書活動系列

読書活動を通して、「話すこと・聞くこと」の力を高めます。

p.30

話すこと・聞くこと、書くこと総合系列

各学年の末には、1年間の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習を通して身につけた力を生かし、総合的な言語活動を行う教材を設定しました。

「言葉で考える力」と、「自分の考えを」表現する力」を高めます。

レポート系列

形式や条件に合わせて文章を書く系列。
社会生活に生きる「書くこと」の力を高めます。

課題作文
条件に応じて
説得力のある文章を書く

提示された文章や図表などの内容を読み取り、自分の考えをまとめ、条件に合わせて2000字程度の文章を書きましょう。

展開がわかりやすく、筋道のとおった文章は、より多くの人を説得することができます。

課題作文
与えられた条件に従って自分の考えをまとめ、読む人を説得できるように筋道を立てて書いた文章。

学習の流れ

- 1 課題について、自分の考えをまとめる
- 2 課題作文を書く
- 3 交流をおし、推敲する箇所を見つけて
- 4 交流を生かして推敲する
- 5 学びを振り返る

課題

次のグラフは、「若者の意識調査」(二〇二〇年実施)の、「SDGsの17の目標のなかで、最も関心のある目標」について、中学生の回答結果の一部を表したものである。これらのグラフを読み、あとの〈条件〉に従って書きなさい。

〈条件〉

- ◆ 二段落構成で、二〇〇〇～二五〇〇字程度で書く。
- ◆ 第一段落にはグラフから読み取ったことを書く。
- ◆ 第二段落には、読み取ったことをもとに、自分の考えを書く。

SDGsの17の目標のなかで、最も関心のある目標

中学生男女300名の回答

目標番号	目標内容	割合
1	貧困をなくそう	21.0%
2	飢餓をゼロに	3.7%
3	すべての人に健康と福祉を	14.7%
4	質の高い教育をみんなに	5.7%
5	ジェンダー平等を実現しよう	1.0%
6	安全な水とトイレを世界中に	3.0%
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	6.0%
8	働きがいも経済成長も	2.0%
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	0.7%
10	人や国の不平等をなくそう	12.7%
11	住み続けられるまちづくりを	4.7%
12	つくる責任、つかう責任	0.3%
13	気候変動に具体的な対策を	8.7%
14	海の豊かさを守ろう	4.7%
15	陸の豊かさを守ろう	1.0%
16	平和と公正をすべての人に	10.0%
17	パートナーシップで目標を達成しよう	0.3%

字数や段落構成など、与えられた条件に合わせて、グラフから読み取って考えたことを文章に書く教材。入試や学力調査などにも対応できます。



創作系列

文学的な文章の創作系列では、想像力を広げ、言葉への感性を育む教材を配列しています。

情報系列

p.22
グラフ・データ・文章などから読み取った課題について考えたことをもとに発信します。

意見文系列

自分の意見を論理的に述べる、「書くこと」の中心系列。

話すこと・聞くこと、書くこと総合系列

各学年の末には、1年間の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習を通して身につけた力を生かし、総合的な言語活動を行う教材を設定しました。

□ 二次元コードの参照先では、さまざまな作文例を収録しています。書くときの参考にしたり、評価の際の参考資料として活用したりすることが出来ます。

◎教材一覧◎

読み書き ……直前の「読むこと」教材と関連づけることで、効果的な学習指導ができるように工夫しました。

レポート系列

1年
レポート
調べたことを整理してわかりやすくまとめる

随筆

読みの書き
体験に向き合い意味づける

行楽案内リーフレット

読みの書き
必要な情報をわかりやすく伝える

詩

読みの書き
思いや発見をリズムに乗せる

意見文

読みの書き
根拠を明確にして考えを述べる

グループ新聞

一年間の自分とクラスを振り返って

2年

手紙・メール

心をこめてわかりやすく書く

短歌・俳句

読みの書き
表現の仕方を工夫して豊かに表す

投稿文

読みの書き
複数の情報を関連つけて根拠を明らかに示す

創作文

読みの書き
読みたくなるしくみを工夫する

論説文

読みの書き
構成を工夫して考えを伝える

情報誌

地域の魅力を振り返って

3年

課題作文

条件に応じて説得力のある文章を書く

漢字一字

自分自身や社会を見つめる

批評文

読みの書き
観察・分析を通して評価する

名言集

中学校生活を振り返って

読書の世界を広げ、人生を豊かにします。

● 読書への誘いとしての「私の読書体験」「読書活動」「書籍紹介」「私の本棚」、資料編の「小さな図書館」「読書教材」、二次元コード参照先コンテンツの「デジタルテキスト」と283点の書籍を紹介しながら、多様な切り口で読書に取り組みます。

● 「読み方を学ぼう」を活用できる「読書教材」は、生徒の主體的な読書にも、補充教材や読み比べ教材としても利用できます。

私の読書体験

作家の方に自身の読書体験を語っていただきました。読書の意義や効用についての理解を深めます。

1年 p.94 又吉直樹さん

▶ 著者からのメッセージ動画をご覧いただけます。



読書活動

多様な読書活動を通して、読書に親しむ習慣を形成します。



2年 p.88 小川洋子さん



3年 p.96 藤崎彩織さん

1年 p.186 「私が選ぶこの一文」

2年 p.187 「ビブリオバトル」

3年 p.191 「ブックトーク」

小さな図書館

「生き方」「心」「言葉」「自然科学」「平和」「文化」という六つのテーマで、ものの見方や考え方を深める本を多数紹介しました。

私の本棚

「読むこと」教材の末尾に、教材との関連を示しながら本を紹介しました。

読書教材

多様な文種・ジャンルの読書教材を掲載しています。「読み方を学ぼう」を活用する素材としても有効です。

1年

- 小説 電車は走る 重松清 **新**
- 小説 おじいさん 西加奈子 **新**
- 説明 玄関扉 渡辺武信 **新**
- 説明 食感のオノマトペ 早川文代 **新**
- 随想 この小さな地球の上で 手塚治虫 **新**
- 古文 古事記 **新**
- 落語の世界／落語 桃太郎
- 日本文学名作集／小倉百人一首 **新**

2年

- 小説 青いインク 吉田篤弘 **新**
- 小説 形 菊池寛 **新**
- 論説 水田のしくみを探る 岡崎稔 **新**
- 論説 金継ぎの美と心 清川廣樹 **新**
- 古文 那須与一「平家物語」より **新**
- 歌舞伎の世界／歌舞伎 外郎売
- 日本文学名作集／小倉百人一首 **新**

3年

- 小説(漫画) 線は、僕を描く 砥上裕将「漫画」堀内厚徳 **新**
- 小説 高瀬舟 森嶋外 **新**
- 随想 「ありがとう」と言わない重さ 呉人恵 **新**
- 論説 虚と実 外山滋比古 **新**
- 古文 さまざまな古典―日記・歌物語・説話 **新**
- 能・狂言の世界／狂言 柿山伏
- 日本文学名作集／小倉百人一首 **新**

◆ 読がついた教材は、「読み方を学ぼう」を活用した図解例をご覧ください。



□ この他、二次元コード参照先の「デジタルテキスト」として、「月夜の浜辺」(中原中也)・「魔術」(芥川龍之介)・「二房の葡萄」(有島武郎)・「駈込み訴え」(太宰治)・「名人伝」(中島敦)・「吾輩は猫である」(夏目漱石)など、多数の名作を掲載しています。

伝統的な言語文化

伝統的な言語文化の世界に親しみ、もの見方を広げ、言葉を豊かにします。

●現代と古典の世界をつなぐ導入や、写真・図版を豊富に用いた資料によって、学ぶ意欲を高め、生涯にわたって古典に親しむ心を育てます。

●「読み方を学ぼう」や、知識・技能を簡潔に示した「古文・漢文の読み方」などの手立てにより、古典を読む力を確実に高めます。

◎教材一覧◎

3年	2年	1年
漢文 論語 漢文の読み方 訓読の仕方の確認 二次元コード □	古文 枕草子・徒然草 平家物語 漢文の読み方 漢詩の形式 漢文の読み方 漢詩の形式 二次元コード □	漢文 故事成語 矛盾 漢文の読み方 訓読の仕方 二次元コード □
古文 和歌の世界 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 二次元コード □	古文 枕草子・徒然草 平家物語 漢文の読み方 漢詩の形式 漢文の読み方 漢詩の形式 二次元コード □	古文 竹取物語 古文の読み方 古典の仮名遣い 二次元コード □
古文 おくのほそ道 二次元コード □	古文 那須与一「平家物語」より 二次元コード □	古文 古事記 二次元コード □

二次元コードで豊かな学び

二次元コード参照先には、本文の朗読音声を掲載しています。繰り返し聞いて古典に親しめます。「学びの道しるべ」に、他の章段等へと読み広げる課題を設定しました。二次元コードの参照先で他の章段等の原文と現代語訳が閲覧できます。



3年

古典芸能に親しむ

各学年の資料編「読書の広場」には、日本の古典芸能についての理解を深めるビジュアルな紙面と、声に出して親しめる古典芸能作品を掲載しています。



2年

p.292 「歌舞伎の世界」
p.294 「歌舞伎 外郎売」

ビジュアルな資料で作品全体の理解を

各学年の中心的な古典教材では、ビジュアルな資料を配置し、作品全体への理解を更に深めます。



1年 p.128 「竹取物語」

2年 p.122 「平家物語」

3年 p.136 「おくのほそ道」

「文学作品」として読み深める

古典作品に親しむことに加えて、「読むこと」教材としての読み深めができるようにしています。

- 1 「あれは大将軍とこそ見まらせ候へ。」(126ページ・2行め)と、大将軍(敦盛)を見つけたときの気持ち。
- 2 「あはれ、助けたてまつらばや。」(128ページ・8行め)と思った理由。
- 3 「土肥・梶原五十騎ばかりで続いたり。」(128ページ・9行め)を見たときの気持ち。

3年 p.139 「おくのほそ道」
学びの道しるべ

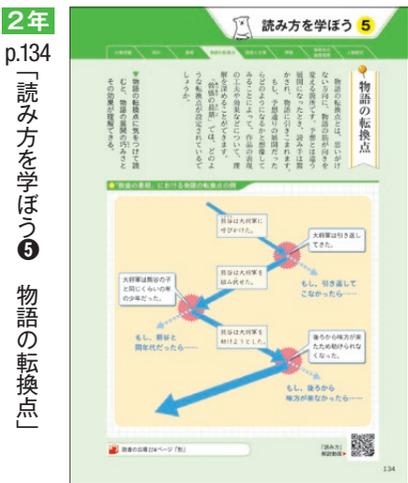


物語の展開の仕方と関連づけて、人物の行動や心情を読み深める。

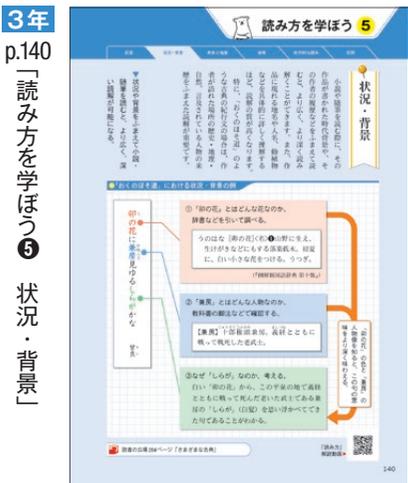
2年 p.132 「平家物語」
学びの道しるべ

- 4 それぞれの句について、地の文や脚注などと関連づけながら読み、そこにめられた心情やもの見方について考えたことを交流しよう。

作品が書かれた状況や背景をふまえて読み、理解や考えを深める。



2年 p.134 「読み方を学ぼう」 ⑤ 物語の転換点



3年 p.140 「読み方を学ぼう」 ⑤ 状況・背景

資質・能力向上への取り組み

令和7年度版『現代の国語』は、これからの時代に求められる確かな資質・能力が身につく教科書です。

小学校からの円滑な接続

小学校での多様な学習からの継続性に配慮し、中学校ならではの学習へスムーズに展開できるように教材を配列しました。

●1年単元の工夫

*1年単元は、もの見方を広げるとともに、詩の形式を学習できる「朝のリレー」からスタートし、読む楽しさを味わい、成長する喜びを感じ取れる物語「竜」、さまざまな場面での話し合いに生きる「グループディスカッション」と、学級開きにふさわしい教材配列としました。

●小学校の学習内容を確認

*「読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ペンギンの防寒着」は、小学校で学習した説明文の読解の基礎・基本を確認できる教材です。直後の「クジラの飲み水」の学習に、スムーズに接続できます。



書写・他教科、社会生活への広がり

実践的な言語活動や技能の習得を通して、さまざまな学習の場面や社会生活で生きてはたらく能力を育成します。

●グループディスカッション

*3学年通して第1単元に配列しました。学年のはじめに話し合いの方法を学習することで、他教科も含めたあらゆる場面で活用できるようにしました。

●思考の方法

*考えを深め、確かなものにするための方法を、学習活動に即して図解でわかりやすく示しました。各教材で繰り返し示すことで、汎用的な技能として定着します。

●書写教科書との密接な関連

*限られた授業時間の中で効果的に学力が身につくよう、国語と書写で同じ教材を設定するなど、書写教科書と密接な関連を図っています。



学力調査等をふまえた学習と入学試験への対応

●学びの道しるべ

*条件に応じて答える、図表を読み取るなど、学力調査等で明らかになった課題をふまえ、それらを克服できるような設問をもちこみました。



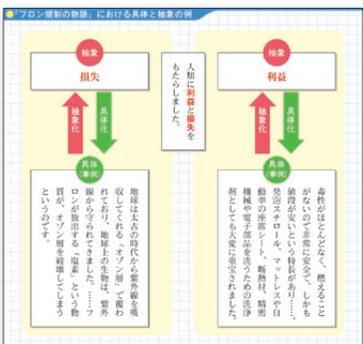
- 条件1 「人死に命」という言葉を使って書くこと。
- 条件2 五十字以上、八十字以内で書くこと。

●読み方を学ぼう

*多様な読み方を系統的に身につけることで、初見の文章にも活用できる能力を育成します。

●課題作文（3年P.64）

*与えられた条件に合わせて、グラフから読み取って考えたことを書く力を身につけます。



●パブリックスピーキング

*公の場で提案や主張する学習活動を通して、面接試験での自己PRにも生きる力を養います。



教育のICT化

●端末を活用した学び

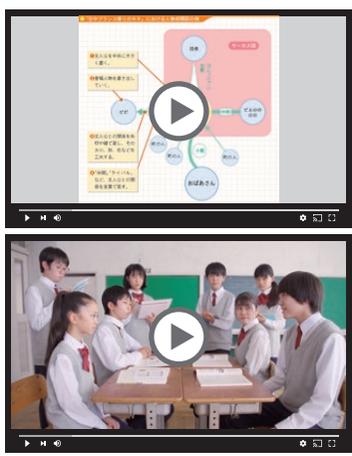
*日常的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの実現へとつなげます。「話し合いの様子を録画して見直す」といった取り組みやすく、効果的な活用の例を示しています。



●二次元コード

*500点以上の多種・多数のデジタルコンテンツによって学びを豊かにサポートします。

詳しくはP.42へ



●指導者用デジタル教科書（教材）

*教科書を立体的に学べるコンテンツや機能を多数掲載しています。詳しくは『デジタルコンテンツパンフレット』をご覧ください。

こちらから体験版をご覧ください。



ユニバーサルデザインへの取り組み

特別支援教育の観点から

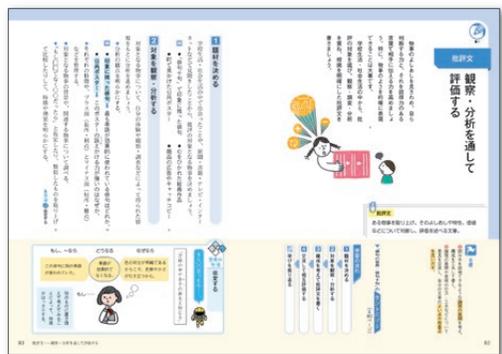
全ての生徒にとって、読みやすく学びやすい教科書となるよう、特別支援教育の専門家による校閲・検証を十分に行っています。

◎学習しやすい書体

*読みやすく、学びやすい独自の明朝体・ゴシック体・教科書体を開発し、画数や点画の方向等において誤解が生じないように配慮しました。

◎上段・下段で情報を区別

*「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材、「読むこと」の学びの道しるべ」では、学習の手順を上段に、学習のポイントや参考となる情報を下段に示すなど、スムーズな学習指導をサポートするように配慮しました。

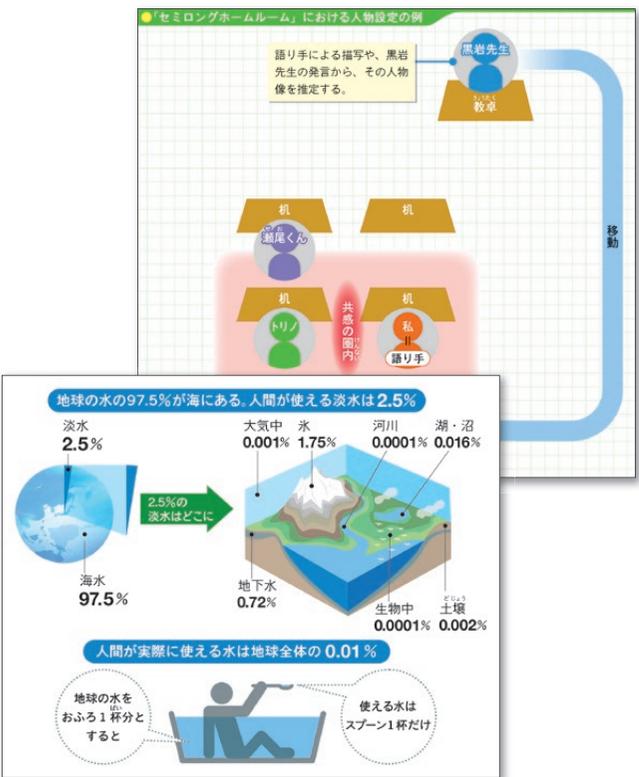
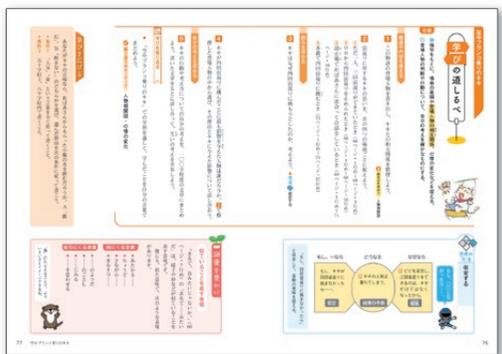


◎見開き完結のレイアウト

*教材の紙面構成においては、なるべく、情報をまとめて示し、情報が次のページにまたがらないようにしました。

◎図解でわかる

*「読み方を学ぼう」や「思考の方法」をはじめとして、わかりやすい図解を随所に用いることで、内容を視覚的に捉えられるようになっています。



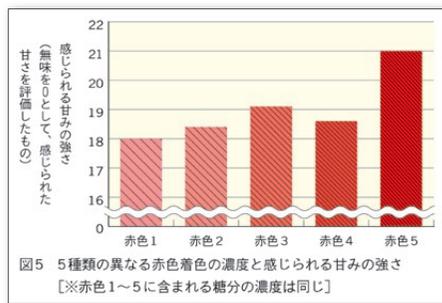
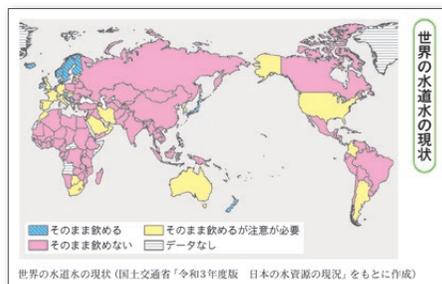
令和7年度版『現代の国語』は、全ての子供たちが、使いやすく学びやすい教科書です。

カラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から

カラーユニバーサルデザインに関して、専門家の指導と校閲のもと、編集しています。色覚の特性を考慮して、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しています。

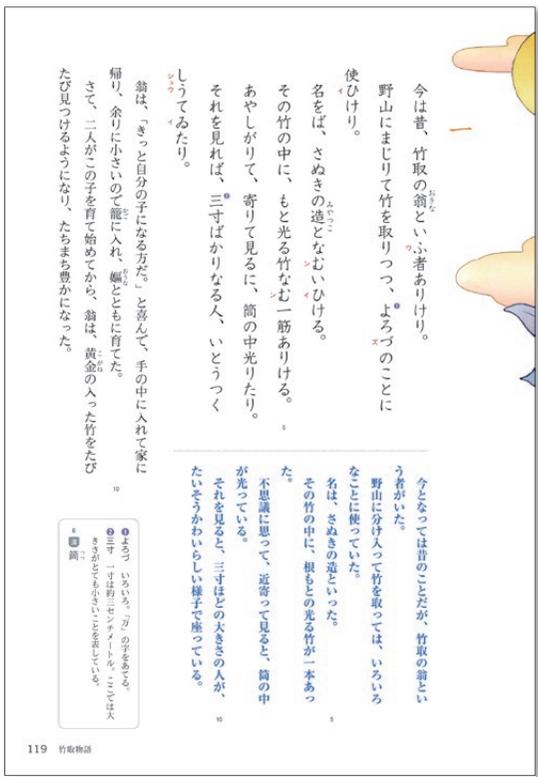
◎色以外で区別できる手がかかり

*色だけの違いに頼らず、色の濃淡や罫線、形の違い、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。



◎識別しやすい色を追究

*古典教材の現代語訳では、色覚の特性による見え方の差が少ない青色を用いています。



造本上の工夫

◎紙の開発

*生徒の負担軽減のため、十分な強度を保ちつつ、薄くて軽い紙を開発しました。

◎製本上の工夫

*製本方式を工夫し、教科書を開きやすくしました。ページが十分に開き、戻りにくいことで、より読みやすい紙面を実現しました。



二次元コード 参照先コンテンツ

動画・音声

「話すこと・聞くこと」の動画や、「読み方を学ぼう」「思考の方法」の解説動画など多数の動画で内容理解をサポートします。



動画 「話すこと・聞くこと」



解説動画 「読み方を学ぼう」



解説動画 「思考の方法」



「この教科書の使い方」解説動画

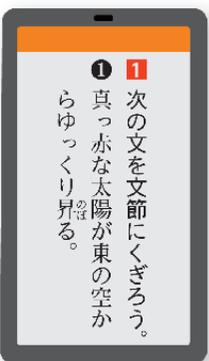


教材著者によるメッセージ動画

一部の教材では、教材文の朗読音声を通して作品に親しむことができます。

デジタルドリル

ブラウザ上で繰り返し学習できる、漢字と文法のデジタルドリルです。基礎・基本の確実な習得を図ります。



間違えた問題に繰り返し取り組むことで、苦手を克服して、しっかりと身につけることができます。自学自習にも対応。

教科書の二次元コードの参照先サイトでは、500点以上の多様なコンテンツを掲載して、豊かな学びをサポートします。

詳しくは「デジタルコンテンツパンフレット」をご参照ください。

参考資料ほか

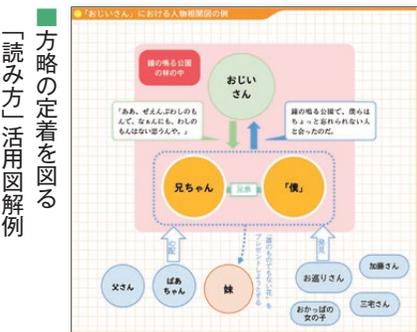
学習の参考となる多様な資料、補充教材、ワークシート、作文例などを掲載しています。



教材の内容理解を深める資料
〔竹取物語〕



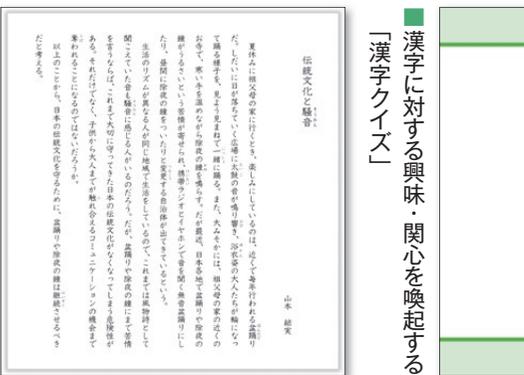
多数の名作が読める
〔デジタルテキスト〕



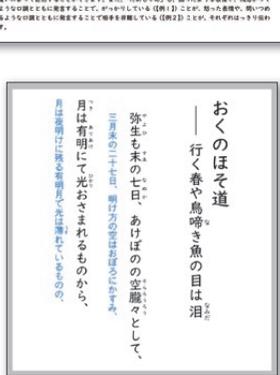
方略の定着を図る
〔読み方〕活用図解例



学びを確かなものにする
〔ワークシート〕



漢字に対する興味・関心を喚起する
〔漢字クイズ〕



「学びを広げる」に関連した
〔補充教材〕

教えやすく、学びやすいを実現する デジタル教科書・教材

これまでも多くの学校で活用されてきた指導者用デジタル教科書（教材）が更に使いやすくなります。機能充実の学習者用デジタル教科書で、これからの学びに応えます。

指導者用デジタル教科書（教材）

●コンテンツを更に呼び出しやすく、スムーズな授業展開が可能

紙面上に操作アイコンが置かれ、「この教材にどんなコンテンツが用意されているのか」がはつきりわかります。授業中に操作に迷うことはありません。また、ペンツールもしつかり搭載。総ルビ機能や図版等の拡大表示といった基本機能で授業を支援します。

音声再生箇所のハイライト表示機能もリニューアルし、よりスムーズな提示が可能になりました。

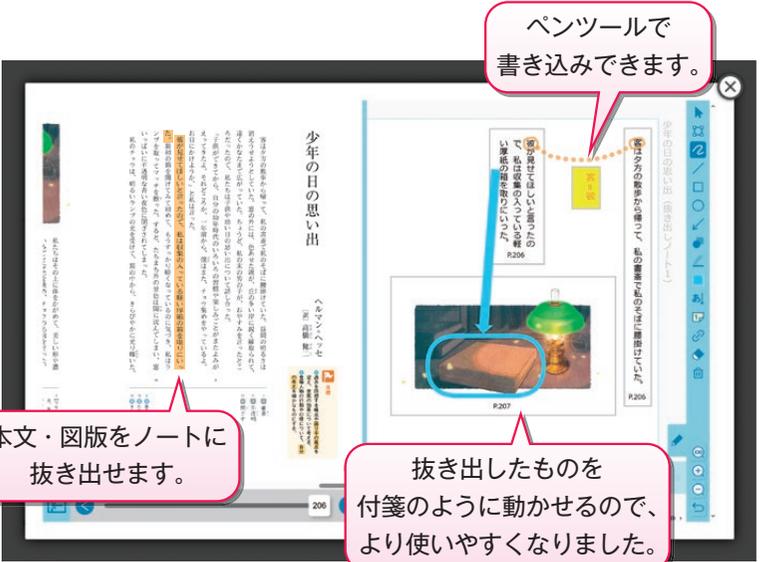
●「抜き出しノート機能」により、デジタルで板書もラクラク

これまで搭載してきた「抜き出しノート機能」をリニューアルしました。抜

き出した内容をふせんのように動かせるので、更に使いやすくなりました。ペンツールでの書き込みも自由自在。

●「辞書の三省堂」だからできる、
語句・漢字コンテンツで学びを支える

語句に関するコンテンツを、三省堂が刊行する辞書の語釈を活用した「語句フラッシュカード」として刷新しました。また、「筆順アニメーション」を追加し、漢字の学びが更に便利になります。



ペンツールで書き込みできます。

抜き出したものを付箋のように動かせるので、より使いやすくなりました。

本文・図版をノートに抜き出せます。



体験版



学習者用デジタル教科書

●生徒の特性に応じた支援機能で、
学びをしっかりと支える

ビューアの機能により、紙面の「グレースケール」表示はもちろん、明るさやコントラスト、文字色の表示変更も可能です。また、「総ルビ」表示にも対応しています。

●使いやすいペン機能のほか、
充実の基本機能でしつかり利活用

フリーハンドペンのほか、直線やスタンプ、ふせんのほか、紙面拡大など、充実したビューアの基本機能を搭載しています。デジタル教科書でも紙の教科書と同様にしつかり学ぶことができます。

●二次元コードで提供される、
豊富なコンテンツを自由に活用できる

紙面に掲載された二次元コードの参照先コンテンツにデジタル教科書からスムーズにアクセスし、利用することができます。多様なコンテンツが豊かな学びをサポートします。

●二次元コード参照先コンテンツ P.42



令和7年度版『現代の国語』のデジタル教科書・教材は、Lentrance Readerで提供します。

Lentrance Readerとは……

株式会社Lentranceが提供する、デジタル教科書や教材のビューアです。教科書を刊行する複数の出版社が採用しており、多くの児童・生徒に使われています。学習履歴データ分析基盤である、「Lentrance Analytics（レントランスアナリティクス）」を提供するなど、学習者用デジタル教科書の利活用を更に深める取り組みをすすめています。

利用環境など、詳細は株式会社Lentranceのサイトをご覧ください。
<https://www.lentrance.com/>



Lentrance、Lentrance ロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社Lentranceの登録商標または商標です。本ガイドに記載されている会社名、製品名、商品名などの名称は、各社の登録商標または商標です。© 2024 Lentrance Inc. All rights reserved.

指導書・教材のご案内

ウェブサイト

[<https://tb.sanseido-publ.co.jp/07gkpr/>]

三省堂 国語教科書



『現代の国語』に関するさまざまな資料や動画による解説などをご覧ください。

デジタル教科書・教材

▼
p.44-45をご覧ください。

教師用指導書

令和7年度版『現代の国語』



情報誌

- 『ことばの学び』
 - 『教育最前線』
- など



学習辞書

- 『例解新国語辞典』
 - 『例解新漢和辞典』
- など



書籍

[教育実践、研究書]

- 『思考力を高める授業』
 - 『メロスはなぜ少女に赤面するのか』
- など



生徒用教材

教科書ガイド

令和7年度版『現代の国語』を中心としながら、さまざまな学習指導プログラムを提案します。

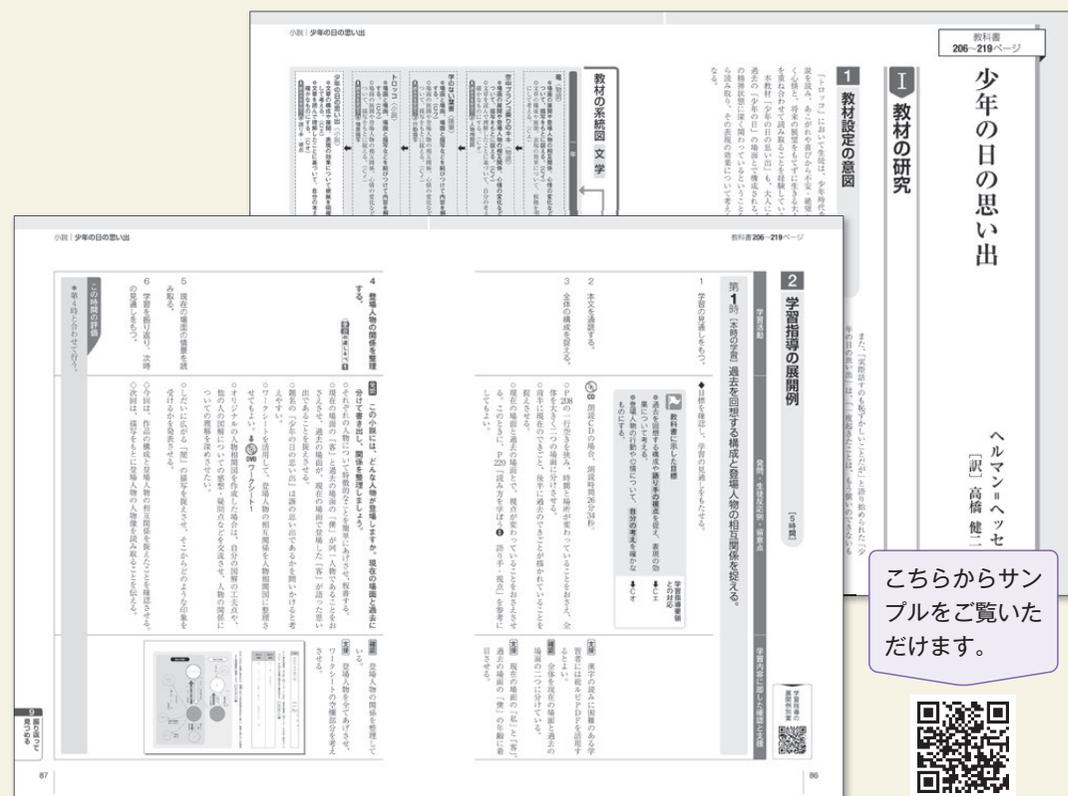
学習指導書「各学年 上中下巻」

●年間指導計画や教材の詳しい解説、標準的な学習指導の展開などを掲載。二次元コードの参照先では、展開例の別案も掲載。

少年の日の思い出

ヘルマン・ヘッセ
「訳」高橋健二

こちらからサンプルをご覧ください。



「読み方を学ぼう」活用ガイド

- 「読み方を学ぼう」を授業で活用するためのガイドブック。

データ資料集DVD

- 教科書紙面の総ルビPDFや「読むこと」教材の本文データ、ワークシート、テスト問題例、「話すこと・聞くこと」動画、「聞くこと」音声、二次元コード参照先サイト掲載資料、年間指導計画作成資料などのデータを収録。

朗読CD

- 教科書に採録している全「読むこと」教材の朗読を収録。各学年とも指導書セットに同梱。

教師用教科書（朱書編）

- 教科書紙面に教材の解説や指導のポイントなどを赤字で付記。

*指導書・教材類は企画中のため、内容・仕様等について、変更する場合があります。

検討の観点	内容の特色
● 情報の扱い方	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年の第6単元に、「情報を関係づける」として、「情報の扱い方」に特化した単元を設け、グラフや図表などの情報と文章による情報とを関連づけながら自分の考えを深める学習ができるようにしている。さらに、情報を関連づけて考えたことをもとに、効果的に情報を発信する学習へとつなげることができるように、教材配列を工夫している。 ●1年では「防災」をテーマに、災害に対する備えの面での課題と、心理面の課題とを考え合わせて、必要な情報を整理してリーフレットを作る学習を設定している。 ●2年では「水問題」をテーマに、多様な考え方や情報を活用し、関連づけて、水問題の解決に関して自分の考えを投稿文にまとめる学習を設定している。 ●3年では「メディアリテラシー」をテーマに、情報に対する見方・考え方を深め、情報の信頼性を確かめる学習を実践し、考えたことを交流する学習を設定している。
「思考の方法」	<ul style="list-style-type: none"> ●全学年にわたり、各教材の学習過程にそって「思考の方法」を位置づけている。「順序立てる」「比較する」「分類する」「関連づける」など、情報と情報との関係を捉え、考えを整理したり深めたりする基本的な方法を、図解を用いてわかりやすく示し、国語科の学習のみならず他教科の学習や日常生活・社会生活に活用できる力を身につけられるようにしている。
資料編	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年に「社会生活に生かす」を設け、情報の収集の仕方や情報を活用する際の整理の仕方などをわかりやすく示すことで、話や文章の中で適切に表現することにつながる情報リテラシーを高められるようにしている。
● 我が国の言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史の中で継承されてきた文化としての言語についての理解を深めるとともに、自らの言語生活を見つめ、豊かにしようとする態度を養うことができる教材を豊富に配列している。
読書	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年の「私の読書体験」では、作家が自身の読書に関する体験を語ることで、読書の意義を理解し、自然と読書への興味・関心が高められるようにしている。 ●「読むこと」教材の末尾には、「私の本棚」として、教材文と同じ作者の本や、テーマに関連のある本など、教材との関連性を明示しつつ、多様な観点から豊富に図書を紹介している。 ●「読書の広場」の「小さな図書館」には、「生き方」「心」「言葉」「自然科学」「平和」「文化」というテーマを設け、各学年47冊の図書を紹介している。 ●「読書の広場」には、各学年5～6本の多様なジャンルの読書教材を掲載し、主体的に読書に親しむとともに、「読み方を学ぼう」で身につけた方略を活用できるようにしている。
伝統的な言語文化	<ul style="list-style-type: none"> ●短歌・俳句や物語・随筆・紀行文、漢詩・漢文など、先人の遺産としての言語作品を多く取り上げ、それらが現代の私たちの生活の中にも生きていることを感じ取ることができるよう工夫して教材化している。 ●1年「竹取物語」は、現代語を交えて作品の全体像をつかみ、文学作品として味わえるようにしている。また、絵巻によって物語の全体をたどることができるようにしている。 ●2年「平家物語」(「敦盛の最期」)は、「読み方を学ぼう」⑤「物語の転換点」を配置し、文学作品としてのダイナミックな展開を捉えることができるようにしている。 ●3年「おくのほそ道」は、「読み方を学ぼう」⑥「状況・背景」を配置し、作品が書かれた時代背景や作者の履歴などをふまえて、古典の読解の質を高められるようにしている。 ●各学年の古典教材には、色鮮やかな見開きページを配し、古典への興味とさらなる学習意欲を喚起するとともに、作品の全体像を捉えられるよう工夫している。 ●「読書の広場」には、「古事記」「那須与一」「さまざまな古典」「小倉百人一首」など多様な作品を掲載し、「落語の世界」「歌舞伎の世界」「能・狂言の世界」などの伝統芸能の世界に親しむ資料を豊富に掲載している。 ●「日本文学名作集」では、年表とあわせて文章の一部が掲載されており、文学史の知識にとどまらず、声に出して読んだり、暗唱したりできるようにしている。

検討の観点	内容の特色
● 観点5 使用上の配慮	
① 特別支援教育についての配慮・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての生徒にとって学びやすいよう、学習の要点がひとめでわかるレイアウト、読みやすい文体や改行などの工夫をしている。 ●学習に取り組みやすくするため、教材の冒頭に目標を明示して見通しがもてるようにしている。さらに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、「学習の流れ」を先に示すことで、学習活動の全体と順序を意識できるようにしている。 ●「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材や「読むこと」教材の「学びの道しるべ」では、学習活動の手順を丁寧に示し、学習手順を上段に、「学習のポイント」や「思考の方法」「語彙を豊かに」を下段に示すなど、わかりやすく情報が整理され、スムーズな学習指導に資するレイアウトとなっている。 ●見開きによる情報のまとまりを重視し、学習に必要な内容が次のページにまたがらないよう工夫している。 ●情報のまとまりを線で囲んだり太字にしたり、重要な情報を大きく示したり、図版と図版の間を空けたりすることで、見やすく、わかりやすくしている。 ●「読み方を学ぼう」「思考の方法」では、文章での解説は簡潔に示し、わかりやすい図解を用いることで、内容を視覚的に捉えられるよう工夫している。
② カラーユニバーサルデザインについての配慮・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●カラーユニバーサルデザインの専門家による校閲を受け、全ての生徒にとって見やすく、学びやすい配色となっている。 ●色による区別に加えて、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けている。 ●色の濃淡や罫線の使い分けなどの工夫を凝らし、情報を整理しやすくしている。
③ 文章表現・用語・記号・図解など	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が意欲をもって学習を進められるよう、わかりやすく読みやすい用語・表現を用いている。 ●図解を適切に配置し、学習内容や方法が具体的にわかるよう工夫している。
④ 書体・文字の大きさ・字間・行間など	<ul style="list-style-type: none"> ●読みやすさ、学びやすさを追求して開発した、独自の明朝体・ゴシック体・教科書体を使用している。画数や点画の方向等において誤解が生じないよう配慮している。 ●漢字の学習や書き写すことの多い韻文・古典教材の本文では、手書き文字に近い書体である教科書体を用いている。 ●文字の大きさや書体を適宜使い分け、情報が整理しやすく、学習しやすいよう工夫している。 ●字間・行間は、生徒の発達段階や可読性に配慮し、読みやすく学びやすいレイアウトとなっている。
⑤ 挿絵・図版・写真など	<ul style="list-style-type: none"> ●挿絵・図版を適所に配置して、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。 ●表紙は、明るくさわやかな印象で、親しみやすいものとなっている。 ●学習をサポートする役割をもったキャラクターを用い、知識・技能の理解や習得をスムーズに行えるよう工夫している。キャラクターの男女バランスにも配慮している。
⑥ 印刷・装丁・造本など	<ul style="list-style-type: none"> ●文字・図版・写真などの印刷が、鮮明でわかりやすくなっている。 ●薄くて軽く丈夫な用紙を開発し、持ち運びの負担を軽減している。また、目が疲れにくい白色度の用紙を使用している。 ●製本は堅牢であり、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。 ●表紙は表面加工を施し、耐久性を高め、手になじみやすくしている。 ●環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。

検討の観点	内容の特色
観点4 領域ごとの内容と特色	
● 話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒の学校生活・日常生活・社会生活の中から発達段階に即して話題を選び、目的や場面に応じて適切に話す能力・聞く能力・話し合う能力を育てられるよう、学習を意図的・計画的に組織している。 ● 全学年において、学習指導要領の言語活動例を網羅しており、さらに、生徒の興味・関心を喚起する多彩な言語活動を取り上げて教材化している。(例 1年「スピーチ」「私が選ぶこの一文」、2年「プレゼンテーション」「ビブリオバトル」、3年「パブリックスピーキング」「ブックトーク」、全学年「グループディスカッション」など) ● 学習活動の手順を明確に示すとともに、「学習のポイント」やテーマ例・スピーチ例・話し合いの例などを示し、ゴールイメージをもつことで、学習に取り組みやすくなるよう工夫している。(例 1年「スピーチ」、2年「プレゼンテーション」、3年「パブリックスピーキング」、全学年「グループディスカッション」など) ● 国語科における他の学習のみならず、他教科や社会生活に活用できるような話し合いの仕方を取り上げ、「話し合いのこつ」を明示しながら、3学年にわたって系統的に教材を配列している。(例 全学年「グループディスカッション」)
第6単元 「情報に関係づける」	<ul style="list-style-type: none"> ● 現代社会の課題をテーマに、グラフや図表などのさまざまな情報を読み取り、話し合いを通して自ら課題を発見し、自分の考えを深めていく教材を設けており、社会の一員として求められる幅広い資質・能力の育成を図っている。(例 1年「防災に関するデータ」、2年「水問題に関する資料」、3年「情報の信頼性を確かめる」)
資料編	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料編には、著作権と引用、メモの活用の仕方、質問の仕方、話し合いの形式、学習用語辞典など、本編の学習と関連づけて、学ぶ力を高めたり、知識を整理したりできる教材を配列している。
● 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒の日常生活・社会生活・言語生活の中から、発達段階と書く必要性・必然性に即して題材を選び、目的や意図に応じて適切に書く能力を育てるよう工夫している。 ● 全学年において、学習指導要領の言語活動例を網羅しており、さらに、生徒の興味・関心を喚起する多彩な言語活動を取り上げて教材化している。(例 1年「レポート」「随筆」「行事案内リーフレット」「詩」「グループ新聞」、2年「手紙・メール」「短歌・俳句」「投稿文」「論説文」「情報誌」、3年「課題作文」「批評文」「名言集」など) ● 学習活動の手順を明確に示すとともに、「学習のポイント」やテーマ例・作文例・作品例を示し、ゴールイメージをもつことで、学習に取り組みやすくなるよう工夫している。(例 1年「随筆」「意見文」、2年「投稿文」「論説文」、3年「課題作文」「批評文」など) ● 根拠を明確にして考えを述べることや、文章構成を工夫して説得力のある文章を書くことなど、基礎的な重要事項は3学年を通して繰り返し学習する場を設け、確実な定着を図っている。(例 1年「意見文」、2年「論説文」、3年「課題作文」「批評文」など) ● 学習の過程において、交流の場を適切に設けることで、共同の学びを促しながら、生徒の学習意欲を喚起している。(例 1年「意見文」、2年「短歌・俳句」、3年「課題作文」など)
第6単元 「情報に関係づける」	<ul style="list-style-type: none"> ● 現代社会の課題について、さまざまな情報を関連づけて深めた自分の考えをもとに、それを書いて発信することを通して、課題解決に向けて取り組む態度を養う教材を設けており、社会の一員として求められる幅広い資質・能力の育成を図っている。(例 1年「行事案内リーフレット」、2年「投稿文」)
資料編	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料編には、著作権と引用、メモの活用の仕方、手紙・はがき・メールの書き方、原稿用紙の使い方・推敲の仕方、読書感想文の書き方、学習用語辞典など、本編の学習と関連づけて、学ぶ力を高めたり、知識を整理したりできる教材を配列している。

検討の観点	内容の特色
● 読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語や情報、人権、環境、国際理解、平和など、現代の課題に向き合いながら、問いを生みだし、想像力をはたらかせて、人や社会について多角的に考え、豊かな心を育むことのできる教材を配列している。 ● 文章構成や論理展開が明快な教材が多く、論理的思考力を高め、説得性をもって表現する力を高めるのに適している。(例 1年「クジラの飲み水」「一〇〇〇円の価値を考える」、2年「人間は他の星に住むことができるのか」「動物園でできること」、3年「間の文化」「フロン規制の物語」など) ● 悩みや葛藤、喜怒哀楽を描き、人間や生き方について教室で深く考え合うことのできる名作を豊富に配列している。(例 1年「空中ブランコ乗りのキキ」「トロッコ」「少年の日の思い出」、2年「小さな手袋」「走れメロス」「形」、3年「握手」「故郷」「坊っちゃん」など)
「学びの道しるべ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」教材に配置した「学びの道しるべ」では、学習のねらいに即して、丁寧かつ簡潔に学習過程を示している。 ● 「学びの道しるべ」の「学びを広げる」では、文章や図表の効果を考える課題、調べたことをまとめて発表する課題、条件をふまえて意見を述べる課題、読み比べる課題など、学力の定着・向上に資する多様で効果的な言語活動を設定している。
「読み方を学ぼう」	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読み方を学ぼう」は、「学びの道しるべ」の課題と関連づけ、その教材に適した読みの方略として、「人物相関図」「三角ロジック」「要約」「人物設定」「図表と文章」「例示」「回想」「批判的な読み」「具体と抽象」など、幅広く取り上げている。 ● 「読み方を学ぼう」では、文章での簡潔な解説に加え、図解を大きく示し、知識・技能を可視化することによって捉えやすくするとともに、汎用性のある「学び方」として習得できるようにしている。 ● 各学年の巻末には、「『読み方を学ぼう』一覧」を付し、学習した読みの方略を繰り返し確認し、他の教材や他教科の学習で「学び方」として活用することを通して、定着が図れるよう工夫している。
● 言葉の特徴や使い方	<ul style="list-style-type: none"> ● 「言葉の特徴や使い方」に関する取り立て教材として、「言葉発見」、「漢字のしくみ」、「文法の窓」+「文法のまとめ」の3系列をバランスよく配列することで、日常の言語生活を豊かにし、言語運用能力を育むことができるようにしている。 ● 「言葉発見」「漢字のしくみ」「文法のまとめ」では、練習問題を設け、学んだことをすぐに確認して、確かな知識として定着を図ることができるようにしている。 ● 漢字の学習は、「読むこと」教材の中で提出する漢字と、漢字取り立て教材とを組み合わせ、各学年ともバランスよく配当している。
語彙	<ul style="list-style-type: none"> ● 各教材に設定している「語彙を豊かに」によって、教材の学習に関連づけながら、多様な語句を身につけ、語感を磨くことができるようにしている。 ● 「読むこと」教材の脚注欄には、文中語句の説明のほか、辞書を活用して調べる語句を示すとともに、あらかじめ類義語や対義語を示すことで、語彙を増やしつつ、語句どうしの関係を捉え、文脈から語句の意味を推測する力を養えるよう工夫している。 ● 資料編「語彙の広がり」では、語句どうしの関係やつながり方に着目した教材を、各学年の学習内容に即して取り上げ、言葉への関心を高め、自ら語彙を増やす態度を養えるようにしている。 ● 資料編「辞典を活用する」では、国語辞典・漢和辞典・類語辞典・四字熟語辞典・タブレットなどで使える辞典など、多様な辞書の活用の仕方を3学年にわたって示している。 ● 資料編「学習用語辞典」では、3年間を通して身につけたい国語科の学習用語を簡潔に解説し、繰り返し確認できるようにしている。

検討の観点	内容の特色
観点3 内容・構成の工夫	
1 全体構成・配列の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●知識および技能を習得する学習と、思考力・判断力・表現力等を育成する学習とが、特定の時期に偏ることなく、バランスよく適切に配分されている。 ●本編と資料編で構成されており、本編では必修の学習内容を扱い、目次で標準的なカリキュラムを示している。資料編では学習を支えるさまざまな資料を整理して示し、弾力的なカリキュラムマネジメントと、重層的な学習を可能にしている。 ●本編は、生徒の発達段階や学年の特性、学校生活や行事等、季節感などを考慮しながら、単元の系統性を明確にして、各学年、同じ時期に同じ領域の学習ができるようにすることによって、学びの積み重ねが実感できるようにしている。 ●「読むこと」の学習をふまえ、関連づけた「書くこと」(話すこと・聞くこと)の教材を随所に配置して、効果的な学習指導ができるよう工夫している。(例 1年 第7単元、2年 第8単元、3年 第3単元、全学年 第6単元など) ●資料編は、「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料」からなり、情報活用に資する資料、伝統文化に親しむ資料、言語活動に必要な知識などを掲載して、言葉の力、学ぶ力を高められるよう工夫している。
2 分量・配当時数への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の発達段階に応じ、各学年の配当時数の中で無理なく学習計画が立てられるよう、適切な分量の教材を配列している。 ●3学期制・2学期制の両方に対応するよう、配当時数に配慮しながら、単元が構成されている。(3学期制の場合は、1学期が第3単元まで、2学期が第7単元までを標準としている。2学期制の場合は、前期が第5単元までを標準としている。) ●各教材の文章の長さは、各学年の発達段階や学習内容に即して適切なものが選ばれ、意欲的に学べるよう配慮している。
3 教材選定の適切さ	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書全体を通して、学習指導要領に示された教材選定の観点をふまえ、学習意欲を喚起するとともに、確かな言葉の力の育成に資する教材を選定している。
4 生徒の発達段階・学年の特性	<ul style="list-style-type: none"> ●3年間を通して系統的・段階的に教材を配列し、既習事項を活用しながら、言葉の力が身につけられるようにしている。また、文章構成の仕方や話し合いの仕方、読み方や考え方など、基礎的な重要事項は繰り返して提示するなど、言葉の力の定着のための工夫を凝らしている。 ●教材で取り上げる話題・題材は、生徒の学校生活や身のまわりの日常生活から、社会生活へと広がるよう配慮している。
5 各教科等の学習・実生活で生きてはたらく力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の日常生活や社会生活の課題を取り入れて、学習で身につけた力が実際の場で生かされるように、話題・題材、知識・技能、活動の具体化を図っている。 ●「学び方」を学ぶことを重視し、他教科の学習や社会生活における言語活動において活用できるよう工夫している。(例 全学年 「グループディスカッション」「読み方を学ぼう」「思考の方法」など)
6 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●全領域の教材において、「つきたい力」との関連を明確にして、多様な言語活動を取り上げている。 ●紹介・説明・提案・議論・案内・報告・創作・編集・論述・批評など、学習指導要領に示された言語活動例を網羅し、全学年において言語活動が充実している。
7 学習指導の系統性と連続性の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導の系統性・連続性が、全学年において重視されている。習得と活用を繰り返すことによって、資質・能力を確実に高めることができるよう工夫している。 ●各学年の単元の系統性が明確になっており、学習が螺旋的・反復的に積み上げられていくことで、資質・能力の定着が図れるようになっている。

検討の観点	内容の特色
8 自学自習への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の見通しと振り返りが明確に位置づけられており、何を学ぶか、何を学んだかを、生徒が実感しやすく、主体的な学習につながるよう工夫している。 ●何を学ぶか、何を学んだかに加え、どのように学ぶかという「学び方」をわかりやすく示すことで、学ぶ意義を自覚しつつ、自学で活用できるようにしている。(例 全学年 「読み方を学ぼう」「読書の広場」、二次元コード参照先コンテンツなど)
9 読書生活・読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年に「私の読書体験」を掲載し、読書の意義や効用について理解を深め、自ら進んで読書をし、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養えるようにしている。 ●「読むこと」教材の末尾に「私の本棚」を設け、教材との関連性を明示しながら図書を紹介するとともに、「読書の広場」の「小さな図書館」には、テーマごとに各学年47冊の図書を紹介している。 ●「読書の広場」には、各学年5～6本の多様なジャンルの読書教材を掲載し、主体的に読書に親しむことができるようにしている。 ●「私が選ぶこの一文」「ビブリオバトル」「ブックトーク」などの多彩な読書活動を配置し、生徒の興味・関心の幅を広げ、知識を深め、読書に取り組む態度が育つよう工夫している。
10 他教科や日常生活との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●他教科や日常の言語生活との連携を図り、幅広い題材についての認識を深め、国語科の学習で習得した言葉の力が他教科等や社会生活などの中で生きてはたらくよう工夫している。(例 全学年 「グループディスカッション」「読み方を学ぼう」「思考の方法」など) <p>【他教科等との関連】</p> <p>英 語 1年 「五十音図とローマ字」、2年 「文法のまとめ」、3年 「慣用句・ことわざ・故事成語」など</p> <p>社 会 1年 「レポート」「防災に関するデータ」、2年 「壁に残された伝言」「飲み水は不足しているか」「水問題に関する資料」、3年 「間の文化」「海を越えた故郷の味」、全学年 「日本文学名作集」など</p> <p>理 科 1年 「クジラの飲み水」、2年 「人間は他の星に住むことができるのか」「一〇〇年後の水を守る」、3年 「フロン規制の物語」など</p> <p>美 術 1年 「故事成語」、2年 「金継ぎの美と心」「歌舞伎の世界」、3年 「間の文化」「線は、僕を描く」など</p> <p>技術・家庭 1年 「食感のオノマトペ」、3年 「情報の信頼性を確かめる」など</p> <p>道 徳 1年 「少年の日の思い出」、2年 「走れメロス」、3年 「握手」など</p> <p>総合的な学習の時間 1年 「グループ新聞」、2年 「情報誌」、3年 「名言集」、全学年 第6単元「情報に関係づける」など</p>
11 地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●各領域の教材選定において、地域的な偏りが生じないよう配慮し、幅広い題材をバランスよく選定している。 ●地域の文化に対する関心を高め、その特色を尊重する態度を養えるような教材を選んでいる。(例 1年 「方言と共通語」「古事記」、2年 「大阿蘇」「情報誌」、3年 「海を越えた故郷の味」「パブリックスピーキング」など)
12 小学校・高校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校から高校までの学習の系統性や継続性に配慮し、中学校で求められる、社会生活に必要な国語の資質・能力を確実に育成できるようにしている。 ●1年の最初の物語「竜」は、新入生である1年生の心理に寄り添いつつ、豊かな表現で語られる作品であり、中学校での国語の学習に抵抗を感じることなく、スムーズにスタートできるよう配慮している。 ●1年の最初の「読み方を学ぼう」として設定した「ペンギンの防寒着」は、小学校で学習した説明文の読解の基礎・基本を確認でき、中学校の学習に円滑に接続できるようにしている。 ●3年には、ものの見方を広げ深め、生き方を考えさせる、高校への橋渡しになるような教材を配置している。(例 3年 「間の文化」「海を越えた故郷の味」「私とは何か」「線は、僕を描く」「高瀬舟」など)

検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
観点1 教育基本法・学校教育法への対応	
① 教育基本法・学校教育法の理念をふまえた編集上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法の第2条「教育の目標」、第3条「生涯学習の理念」、および、学校教育法の第21条「義務教育の目標」、第30条・第49条「生涯学習の基盤・学力の三要素」をふまえた編集になっている。 ●特に、教育基本法第2条に基づいた教材が全学年に配置されている。 <ul style="list-style-type: none"> 第1号 真理を求める態度、豊かな情操と道徳心を養う。(例 1年「少年の日の思い出」、2年「人間は他の星に住むことができるのか」、3年「論語」など) 第2号 創造性、自主・自立の精神、勤労を重んじる態度を養う。(例 1年「空中ブランコ乗りのキキ」、2年「名づけられた葉」、3年「線は、僕を描く」など) 第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力、主体的に社会に参画する態度を養う。(例 1年「この小さな地球の上で」、2年「金継ぎの美と心」、3年「私とは何か」など) 第4号 生命・自然の尊重、環境保全に寄与する態度を養う。(例 1年「クジラの飲み水」、2年「動物園でできること」、3年「フロン規制の物語」など) 第5号 伝統と文化を尊重し、他国を尊重して国際平和へ寄与する態度を養う。(例 1年「竹取物語」、2年「一〇〇年後の水を守る」「飲み水は不足しているか」、3年「『ありがとう』と言わない重さ」など)
② 知識および技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎的・基本的な知識および技能を習得し、習得したことを自覚して、繰り返し活用することで定着するよう、各領域とも重視する観点や学習の方法を明確に示している。 ●各教材に、情報を的確に捉えて考えを深めるための「思考の方法」、教材の言葉をきっかけに多様な観点から語彙を豊かにする「語彙を豊かに」を設定するなどの工夫を凝らし、基礎的・基本的な知識および技能が確実に習得できるようにしている。
③ 思考力・判断力・表現力等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●学年の発達段階をふまえ、課題解決的な言語活動を系統的に設定し、思考力・判断力・表現力等を高めることができるようにしている。 ●読みの方略を学ぶ「読み方を学ぼう」や、「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材に示した「学習のポイント」、「思考の方法」など、「学び方」を学ぶための工夫を凝らし、汎用的な力を身につけられるようにしている。
④ 学びに向かう力・人間性等の養成	<ul style="list-style-type: none"> ●確かな目的と見通しをもち、「学び方」を意識しながら学習を進め、学びの成果を実感することで、意欲的に取り組めるよう工夫している。 ●生徒が取り組みたくなる言語活動や読む意欲を喚起する魅力的な文章教材が豊富に取り上げられており、主体的な学習を促している。(例 1年「竜」、2年「セミロングホームルーム」、3年「坊っちゃん」など) ●対話や考えの共有などの共同的な言語活動の場を適切に設け、仲間とともに学習の達成感を得て、学ぶ意欲を高められるようにしている。(例 全学年「グループディスカッション」、第6単元「情報に関係づける」など)
⑤ 学習の見通しと振り返りの明確化	<ul style="list-style-type: none"> ●各教材とも、冒頭に学習目標を示し、末尾に振り返る活動を設けている。見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返ることによって自分の学習を診断・評価して、次の学習に生かすことができるようにしている。 ●各学年の冒頭に「領域別教材一覧」を設け、1年間の学習の見通しをもつとともに、各教材での「つきたい力」がひとめでわかるようにしている。 ●各学年の巻末に「『読み方を学ぼう』一覧」を設け、学習した読みの方略を振り返って確かめることができるようにしている。

検討の観点	内容の特色
観点2 学習指導要領への対応	
① 学習指導要領に対応した工夫や配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の目標と内容がもれなく指導できる教科書になっている。 ●学習過程の明確化や学習の系統性の重視、言語活動・読書活動の充実などが図られている。 ●基礎的・基本的な知識および技能の習得と、それらを活用しての思考力・判断力・表現力等の育成に資する工夫を随所に施している。
② 語彙指導の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ●各教材に「語彙を豊かに」を設定するとともに、資料編には「語彙の広がり」を配置し、理解できる語句や使える語句の量を増やし、語感を磨くことができるようにしている。 ●辞書を活用する学習を多数設け、日常的に辞書を引く習慣をつけるとともに、確かな語彙力が身につくよう工夫している。(例 3年「ワードハンティング」、全学年「辞書を活用する」など)
③ 情報の扱い方に関する指導の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年の第6単元に、「情報に関係づける」として、「情報の扱い方」に特化した単元を設けたほか、各教材の学習過程にそって「思考の方法」を位置づけ、教科書全体を通じて「情報の扱い方」を学習できるようにしている。 ●資料編には、情報リテラシーを高めるための教材を豊富に掲載している。(例 全学年「著作権と引用」「メモを活用する」など)
④ 我が国の言語文化に関する指導の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ●和歌・俳句・古文・漢詩・漢文などを幅広く取り上げ、言語文化の継承・発展やその意義を考えることができるよう配慮している。 ●「読書の広場」では、「古事記」「那須与一」「さまざまな古典」(日記・歌物語・説話)を取り上げているほか、資料編では、「落語の世界」「歌舞伎の世界」「能・狂言の世界」について、豊富な図版とともに親しみやすく紹介している。
⑤ キャリア教育への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●今までの歩みを振り返ったり、今の自分を見つめたり、将来について考えたりする教材を配置し、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる資質・能力や態度を育てることに配慮している。(例 1年「空中ブランコ乗りのキキ」、2年「青いインク」、3年「漢字一字」「私とは何か」など)
⑥ 現代的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●急激な社会の変化がもたらす現代の課題(情報・環境・経済・国際理解・平和・人権・少子高齢化・防災・食育など)や、持続可能な開発目標(SDGs)に、社会の構成員として粘り強く取り組む姿勢を養い、積極的に問題解決にあたるために、対話や合意形成などの具体的方法、そのために欠かせない論理的な思考力・判断力・表現力等を育成する教材を配列している。(例 1年「一〇〇〇円の価値を考える」「みんなにいるから大丈夫」の怖さ、2年「一〇〇年後の水を守る」「小さな手袋」、3年「海を越えた故郷の味」「フロン規制の物語」など)
⑦ 教育のICT化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書内の二次元コード参照先のサイトでは、「動画・音声」「デジタルドリル」「参考資料」など、個別最適な学びと協働的な学びの実現をサポートする500点以上の充実したデジタルコンテンツが用意されている。 <ul style="list-style-type: none"> ●「動画・音声」:「話すこと・聞くこと」の動画や、「読み方を学ぼう」「思考の方法」の解説動画、教材著者によるメッセージ動画など、多数の動画で内容理解をサポートしている。 ●「デジタルドリル」:漢字と文法について、ブラウザ上で繰り返し学習することで、基礎的な知識・技能の習得が図れる。 ●「参考資料」:デジタルテキスト・補充教材・ワークシート・作文例・各種解説資料など、学習を支える資料を豊富に掲載している。 ●話し合いの様子を撮影する、端末上で文章を作成するなど、学習の過程において、ICT活用のイメージをもちやすくするよう工夫している。(例 全学年「グループディスカッション」、1年「行事案内リーフレット」、3年「課題作文」など) ●デジタル教科書・教材には、教科書を立体的に学べるコンテンツや機能を収録している。

●著作者

中洌正堯 兵庫教育大学名誉教授

足立幸子 新潟大学

安部朋世 千葉大学

池田有紀子 高根沢町立阿久津中学校

糸井通浩 京都教育大学名誉教授

上山伸幸 創価大学

河野順子 元白百合女子大学

河野智文 福岡教育大学

岸本憲一良 山口大学

吉川芳則 兵庫教育大学

紅林定宏 学校法人法城学園

古賀洋一 島根県立大学

小林信之 大阪教育大学附属池田中学校

笹原宏之 早稲田大学

佐藤佐敏 福島大学

白井達夫 横浜国立大学

鈴木昌弘 仙台北百合女子大学

高木展郎 横浜国立大学名誉教授

高瀬裕人 琉球大学

田川学 元大津市立日吉中学校

武田裕司 福岡教育大学

田中智生 岡山大学名誉教授

俵万智 歌人

中條敦仁 皇學館大学

寺田守 京都教育大学

中野登志美 宮崎大学

永野恵美 那珂川市立那珂川中学校

西岡加名恵 京都大学

日高辰人 元世田谷区立三宿中学校

堀田龍也 東北大学

正木友則 岡山理科大学

町田守弘 早稲田大学名誉教授

松永和也 桐蔭学園中等教育学校

三浦和尚 愛媛大学名誉教授

宮川健郎 武蔵野大学名誉教授

宮城信 富山大学

宮本浩治 岡山大学

村上呂里 琉球大学

山本聖志 明海大学

吉田和夫 日本大学

渡辺貴裕 東京学芸大学

株式会社三省堂

●編集協力

赤塚恵 市川高等学校

池田匡史 岡山大学

大石正廣 神戸松蔭女子大学

大江実代子 元三木市立緑が丘小学校

小嵯麻由 神戸学院大学

神部秀一 国士館大学

神頭亮太 元岡山大学教育学部附属中学校

田中宏幸 安田女子大学

野中拓夫 四天王寺大学

溝上慎一 桐蔭学園

村田美和 高崎健康福祉大学

望月敬幸 静岡大学

米田謙三 早稲田摂陵高等学校

ほか72名

●校閲

[特別支援教育]

笹森洋樹 常葉大学

[カラーユニバーサルデザイン]

溝上陽子 千葉大学

令和7年度版中学校国語教科書ウェブサイト

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/07gkpr/>

*この資料の内容に加え、編修趣意書や年間学習指導計画作成資料、デジタル教科書・教材(体験版)のご案内など、さまざまな情報を掲載しております。



三省堂

〒102-8371 東京都千代田区麴町5-7-2

☎03-3230-9411

●大阪支社

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3

☎06-6341-2177

●九州支社

〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1

☎092-531-1531